デイリー・コーポレートアクション・レポート

東証上場企業の主な開示／2026 年 11 月 4 日（水）　発行：ていネコの投資ノート

対象期間：2026 年 11 月 2 日(月)18 時ごろ～11 月 4 日(水)18 時ごろ(11 月 3 日〈火〉は文化の日で休場)

本日のポイント

- 最重要は三菱商事(8058)の上限 1 兆円・4.2 億株の自社株買い。取得株は全数消却予定で、発表当日の株価は前日比+7.9%。システナ(2317)も発行済株式の 6.65%を上限とする自社株買いと 10%の消却を決めた。
- 新規の TOB・経営統合・株式分割の大型発表は確認できず、中間決算と同時の株主還元強化が中心。三井化学は JSR 買収検討を「事実」と認めた(未決定)。
- カカクコム(2371)の EQT による TOB(3,683 円)は 11 月 12 日(木)に期間終了予定。LINE ヤフー陣営の対抗 TOB(3,700 円。KDDI との不応募契約締結時は 3,720 円)は 11 月中旬開始予定で、応募の判断時期に注意。

1．本日の主な開示

種類	コード	会社名(市場)	概要	株主への影響
大型自社株買い・消却	8058	三菱商事 (プライム)	上限 4.2 億株(自己株除く発行済の約 11.5%〔筆者算出〕)・1 兆円。11/5～2027/7/31 に市場買付、取得株は 2027/8/31 に全数消却。通期純利益予想も上方修正	需給面の下支えと 1 株当たり価値の向上。手続き不要。株価は+7.9%(5,148 円)
大型自社株買い・消却	2317	システナ (プライム)	上限 2,380 万株(6.65%)・100 億円、11/5～2027/11/4。別途、自己株 4,260 万株(発行済の 10.00%)を 11/12 に消却	自社株買いの実行分は需給改善と 1 株当たり利益の押し上げ要因。保有自己株の消却自体は EPS を変えない。手続き不要
株主優待・増配	3202	ダイトウボウ (スタンダード)	株主優待制度の見直しと配当予想の修正(年 1.5 円増額)を発表	優待の具体的内容は―(未確認)。保有者は会社資料で確認を
その他	―	三井化学(4183)ほか	三井化学：JSR 買収の検討を事実と認める(決定事項なし)。ペガサス(6262)大幅増配予定、スズデン(7480)増配、ASAHI EITO(5341)優待変更(11/2 発表)	いずれも株主側の手続きは不要。三井化学は正式決定の有無に注目

2．注目案件の解説

三菱商事（8058）：上限 1 兆円の自社株買いと全数消却

何が決まったか：11 月 4 日の中間決算と同時に、上限 4 億 2,000 万株・取得総額 1 兆円の自社株買いを決議しました。東証での市場買付で、取得した株式はすべて 2027 年 8 月 31 日に消却する予定です。

条件：取得期間は 2026 年 11 月 5 日～2027 年 7 月 31 日。1 兆円は前営業日(11/2)終値 4,772 円ベースで自己株除く発行済株式の約 5.7%に相当します、株数上限の 4.2 億株は約 11.5%です(いずれも筆者算出。ロイターは「約 6%」と報道)。

株主がとれる対応：市場での買付のため、株主の手続きは不要です。

論点・注意点：上限は「枠」であり、全額の取得を約束するものではありません。当日の株価は+7.88%と、好材料の一部は既に織り込まれた可能性があります。

システナ（2317）：6.65%の自社株買いと 10%の消却

何が決まったか：上限 2,380 万株(自己株除く発行済の 6.65%)・100 億円の自社株買いと、保有自己株 4,260 万株(消却前発行済の 10.00%)の消却を決議しました。

条件：取得期間は 2026 年 11 月 5 日～2027 年 11 月 4 日、東証での市場買付。消却日は 11 月 12 日（木）で、消却後の発行済株式数は約 3 億 8,328 万株の見込みです。

論点・注意点：消却は既に保有する自己株の整理で、EPS を押し上げるのは今後の買付部分です。市場環境により取得しない場合もあると開示されています。株主の手続きは不要です。

（継続案件）カカクコム（2371）：EQT の TOB が 11 月 12 日に期限

状況：EQT による TOB は価格 3,683 円（7 回目の引き上げ後）、期間は 10 回目の延長で 11 月 12 日（木）まで。対抗する LINE ヤフー・ベイン陣営は提案価格を 3,700 円に引き上げ（KDDI との不応募契約が締結できた場合は 3,720 円）、TOB 開始は 11 月中旬の予定です（条件・日程は変更が続いています）。

株主がとれる対応：EQT 案への応募、対抗 TOB の開始待ち、市場売却の選択肢があります。証券会社の受付締切は期間末日より早い場合があります。

3．上場廃止・整理銘柄の動き

本日新たに決まった上場廃止・整理銘柄指定：ウェブ検索等の範囲では確認できませんでした（JPX 一覧は 10 月 30 日更新）。なお、まぐまぐ（4059）が 10 月 28 日に整理銘柄に指定済みです。

上場廃止日	会社名（コード・市場）	理由
2026/11/11（水）	アールビバン（7523・スタンダード）	MBO（公開買付け・株式併合）
2026/12/01（火）	光・彩（7878・スタンダード）	申請による上場廃止（10/30 整理銘柄指定）

4．今後の主な日程

日付	会社名（コード）	内容
11/5（木）	日本抵抗器製作所（6977）	TOB 期間終了（フェローテック、1,901 円）
11/10（火）	アルビス（7475）	TOB 期間終了（ライフコーポレーション、3,780 円）
11/10（火）	HYUGA PRIMARY CARE（7133）	MBO の TOB 期間終了（2,110 円）
11/10（火）	サンケイ RE 投資法人（2972）	TOB 期間終了（シティインデックスフィフス、12.5 万円）
11/11（水）	プロジェクト HD（9246）	TOB 期間終了（TX1〔テクノプロ・HD〕、2,200 円）
11/12（木）	カカクコム（2371）	EQT の TOB 期間終了（3,683 円）
11/12（木）	システナ（2317）	自己株式 4,260 万株の消却
11/18（水）	キーエンス（6861）	株式分割（1→5）権利付最終日（基準日 11/20、効力 11/21）
11 月中旬（予定）	カカクコム（2371）	LINE ヤフー陣営の対抗 TOB 開始予定（3,700 円／3,720 円）

5．用語の解説

自己株式の消却：会社が買い戻して保有している自社の株を、なくしてしまうこと。自己株は元々 EPS の計算から除かれるため消却だけでは EPS は変わりませんが、将来の市場への再放出の懸念がなくなります。

対抗 TOB：ある会社への TOB に対し、別の買い手がより高い価格などで TOB を仕掛けること。株主は良い条件を選べますが、条件や日程が頻繁に変わります。

対象範囲：本資料はウェブ検索等で確認できた開示を整理したもので、全開示を網羅したものではありません。11 月 4 日 15 時以降の開示は未掲載の案件がある可能性があります。

算出値：自社株買いの発行済株式比率（三菱商事）は公表数値と株価から筆者算出です。カカクコムの EQT TOB 期間終了日は株 Kiso の 1 出典のみで確認。本資料は生成 AI を用いて公開情報を整理・執筆しました。

出典：日本取引所グループ（JPX）、日本経済新聞、ロイター、ブルームバーグ、株探ニュース、Yahoo!ファイナンス、日本インタビュ新聞（media-ir）、財経新聞（フィスコ）、財経日報、株 Kiso、TOB Radar、M&A Online、日本 M&A センター、株主優待速報（invest-jp）、トレーダーズ・ウェブ

本資料は公開情報に基づく市況の整理であり、特定の銘柄の売買を推奨するものではありません。投資判断はご自身の責任でお願いいたします。